

私は日記を書く

その日の日記を書き終え、床につく時、いや、その時だけでなく、長い日がたってしまった後でもだが、その日 私は 何か自分の為にいや 他の人の為でも いいが、

「ああ、今日があってよかった。よい経験を得ることができた。」と 自分が思えることがあると、「その日が無意味でなかった。」と、満足し、

その時、再び、自分の過去の生活をこれからの 有益な財産、材料として活用できると 再び確認する。

私は、本来、自分の行動を丹念に書き記し、記録する人種ではないが、日記を書く喜びを、楽しみを 味わいたい。

この日記は、一日の最後、床に入る時に手にとり、横になりながら、小さい蛍光灯の光の下で今日の反省と明日への心がまえを持って書くことを原則とする。

